

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年11月01日

計画の名称	県民の命と暮らしを守る社会資本整備と老朽化対策の推進（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）							重点配分対象の該当	○				
交付対象	大分県												
計画の目標	海岸施設の経年変化、波力等の影響による損傷や機能低下に伴う被害リスクの増大に対し老朽化対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、県民の安心安全を確保する。 南海トラフ地震等の大規模地震に備え、海岸保全施設の耐震・液状化対策を推進し、地震・津波による被害の防止・軽減を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	800	A	800	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	海岸保全施設の長寿命化を図り、トータルコストの縮減など効率的な維持管理・更新を推進する。 事業箇所において、長寿命化計画を策定し、施設老朽化による破堤の防止を図る	0m	1275m	38800m
2	南海トラフ地震対策推進地域の施設（堤防等）における耐震性能調査及び耐震対策を行い、地震・津波から人命及び財産を守る。 事業箇所において、地震および津波による施設の破堤防止を図る	15500m	17300m	22000m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果 備考																				
海岸事業	A09-001	海岸	一般	大分県	直接	大分県	老朽化	水国	海岸堤防等老朽化対策緊急事業	老朽化調査、補修対策計画、補修対策工事等	全域		■	■	■	■	500		策定中	
	A09-002	海岸	一般	大分県	直接	大分県	耐震	水国	海岸耐震対策緊急事業	耐震調査、耐震対策計画、耐震対策工事等	全域		■	■	■	■	300		—	
										小計							800			
										合計							800			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大分県において評価を実施。

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

大分県ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

海岸保全施設の長寿命化を図り、トータルコストの縮減など効率的な維持管理・更新を推進した。南海トラフ地震対策推進地域の施設（堤防等）における耐震性能調査及び耐震対策を行い、地震・津波から人命及び財産を守ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	38800m
	最終実績値	38800m
海岸保全施設の長寿命化を図り、トータルコストの縮減など効率的な維持管理・更新を推進する。		
2	最終目標値	22000m
	最終実績値	22000m
南海トラフ地震対策推進地域の施設（堤防等）における耐震性能調査及び耐震対策を行い、地震・津波から人命及び財産を守る。		